

アユ資源の状況について

琵琶湖海区漁業調整委員会
令和4年(2022年)8月8日
滋賀県水産試験場

1. 魚探による資源調査

- 水深 30m 等深線付近の周回コースの魚探調査の結果、7月の魚群数は 174 群（平年比 123%）となった（図 1）。今年の周回魚探の魚群数は 4 月を除いて平年比 79~123%であり、おおむね平年並みとなった（図 2）。



区 間	大群	中群	小群	小群換算値
	a	b	c	$a*9+b*4+c$
計	0	6	150	174

図 1. 令和 4 年 7 月魚探結果

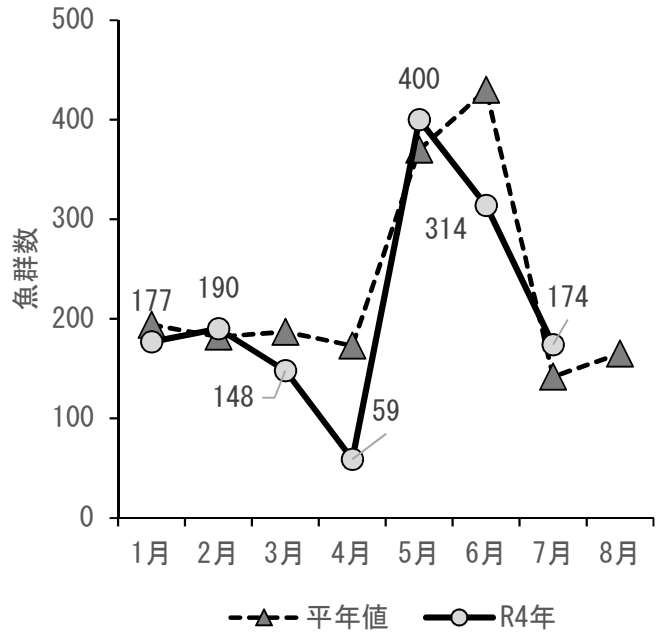


図 2. 令和 4 年の周回魚探結果の推移

2. 漁獲物体型調査

- 令和 4 年エリ漁獲魚の平均体長は漁期当初から平年値を下回り、産卵数が激減した 2017 年と同水準で推移していたが、5 月以降急激に大きくなり 7 月には平年を上回った（図 3）。栄養状態を表す肥満度は 4 月から 5 月にかけて一旦回復したものの、7 月には再び低下している。ただし、肥満度が大幅に低下した 2012 年ほどではなく（図 3）、産卵が多かった昨年と同水準である。

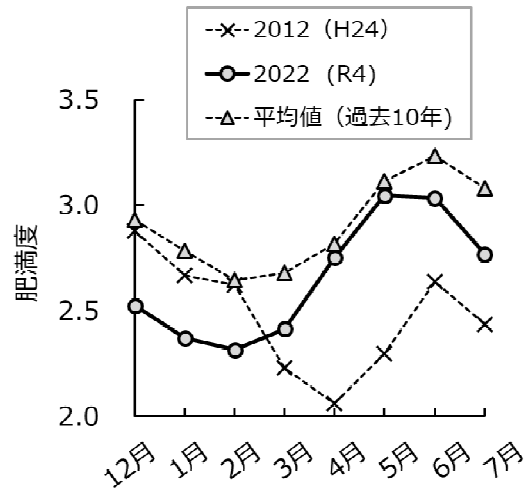
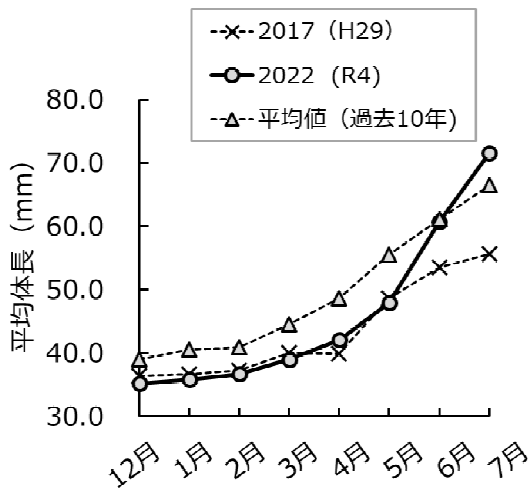


図 3. 令和 4 年エリ漁獲魚の体型